

第35回「余市味覚マラソン大会」開催！

本町秋の一大イベントとして定着した第35回余市味覚マラソン大会は、秋晴れの空のもと、9月24日（日）余市運動公園陸上競技場を主会場に開催されました。

大会には、道内外から1273名のランナーがエントリーし、町内からも92名のエントリーがありました。コースは例年同様に陸上競技場を発着点とし、各中継地点を折り返すハーフマラソン・10キロ・5キロの3コースで、15部門に分かれて実施されました。スターターは大会長の鈴木一弘余市体育連盟会長他2名が務め、



▲大会を支えるボランティアの皆さん（選手果物引換所）

ハーフマラソンを皮切りに、5分おきに陸上競技場をスタートしました。ランナーは、沿道の声援にこたえながら、元気いっぱいの走りでゴールを目指して駆け抜けました。走り終えたランナーには、参加賞のTシャツや完走証が手渡されました。

今年大会の運営も、たくさんの方々のご支援・ご協力のもとに進められ、全日程を無事に終了することができました。

スタート風景



▲ハーフマラソンの部



▲大会長の号砲で



▲10Km マラソンの部

寿大学「詩吟・民謡・カラオケ・歌声」の4サークルが発表！

～日頃の練習成果を披露～

寿大学には、「詩吟・民謡・カラオケ・歌声（女性学級との合同サークル）」の4つの自主サークルがあり、5月から月2回の練習を熱心に行っていました。その成果を披露し合う「サークル活動発表会」が、9月14日（木）に中央公民館で行われ、寿大学・女性学級合わせて約80名が参加しました。出演者の熱のこもった発表に温かい声援や拍手がたくさん送られ、盛況のうちに発表会の幕は閉じました。



▲詩吟サークル

全員で合吟「吟詠道」、独吟「時に憩う」他3曲を吟じました。



▲民謡サークル

参加者全員で「斉太郎節」、出演者で全国各地の民謡10曲を唄いました。



▲歌声サークル

女性学級生を合わせて約40名が「矢車草」他3曲を合唱しました。



▲カラオケサークル

日頃鍛えた喉で12曲を披露しました。情感たっぷりの歌声が響きました。

「音楽療法の体験」講座開催

～音楽の持つ力を実感～

女性学級の第8回学習講座「音楽療法の体験」が9月11日（月）に行われ、24名の学級生が参加しました。3年連続開催の講座ということもあり、講師の近藤ひとみさん（音楽療法士）とは顔なじみの受講生も多く、楽しい会話や笑顔いっぱいのなか講座が始まりました。

最初は音楽療法の効果等について学び、その後は手足を使ったり、楽器を取り入れるなどいろいろな歌い方で、歌謡曲・童謡・民謡14曲を元気よく歌いました。音楽が心身の健康回復・向上につながっていくことを実感できた学習講座となりました。



▲手をつないで



▲楽器を鳴らして

ウィークエンドサークル開催

～楽しい体験を通して学びあいを～

10月1日（日）、第2回ウィークエンドサークル活動「ムーブメント体験」が、中央公民館で開催されました。

今年もムーブメント遊び集団「虹の子」の森正人先生に指導を依頼し、フラフープや大きなパラシュート等を使った遊びを行いました。参加した子どもたちや家族の皆さん、ボランティア・関係者30数名が一緒になって運動し、動く楽しさ・できた喜びを体験することができました。



▲フラフープを使って



▲パラシュートを使って

「やさしい手話教室」を開催
～手話で自己紹介・挨拶を～

10月2日（月）、女性学級第9回学習講座「やさしい手話教室」は、後志ろうあ協会余市支部の伊藤利恵子さんを講師にお迎えし、15名が参加して行われました。前半は、挨拶・数・家族の名称・住所・自分の住所を表現する手話について教えていただき、後半はグループに分かれて「手話で自己紹介をしよう」を目標に練習に取り組みました。講師や通訳補助ボランティアの方にわかりやすく教えていただいたおかげで、自己紹介ができるようになりました。受講生の学ぼうという姿勢が強く感じられた手話教室となりました。



▲手話の基本を学んで



▲手話で自己紹介を

寿大学・女性学級のみなさんへ

合同学習講座 11月9日（木）午後1時30分～3時
■講話「余市紅志高等学校の歩み」201・202号室

講師 紅志高校教頭 藤橋昌俊先生

余市紅志高校は、平成22年4月、余市高校・仁木商業高校・古平高校の3校が再編統合して開校した後志管内唯一の総合学科の高校です。また、校訓に「学べ・優しく・逞しく」を掲げ、総合学科としての教育活動を展開しています。開校して8年目を迎えた学校の歩み、生徒の皆さんの活躍等について話を聞く講座です。



映画会のご利用は、予約や申込みの必要はありませんお気軽にお越しください

大人映画会（午後2時～）	
2日（木）	秋刀魚の味（邦画）
5日（日）	赤毛のアン（洋画）
9日（木）	死の棘（邦画）
16日（木）	ある日どこかで（洋画）
19日（日）	古畑任三郎（邦画）
祝日映画会（午後2時～）	
23日（木）	パリの恋人（洋画）
子ども映画会（午後2時～）	
4日（土）	アンパンマンとどんぶりマンとリオ
18日（土）	レミーのおいしいレストラン
祝日子ども映画会（午後2時～）	
3日（金）	ルパン三世VS名探偵コナン

問合せ 図書館（☎22-6141）
http://www.yoichi-lib-UNET.ocn.ne.jp/
開館時間 午前10時～午後6時30分

図書館のすてきな窓

ぬいぐるみおとまり会

日時 12月2日（土）①午前11時～②午後2時～
対象 幼児～中学生（親子で参加できます）
定員 各15名（先着順）
申込み 11月28日（火）まで（電話申込み可）
※ぬいぐるみのお迎えは、12月5日（火）～17日（日）までの間にきてください。（写真をプレゼントします）
おとなのための音読会 楽しみながら声を出しましょう！
日時 11月8日、22日、12月6日の各水曜日
午後1時30分～3時30分
講師 星野 まどかさん
対象及び定員 大人 20名程度
持ち物 手鏡、割りばし、飲み物、筆記用具
※配布資料がありますので事前に申込みください。（電話申込み可）

秋の読書週間イベント ～古本活用無料市～
一人20冊までご希望の方に配布します。本を入れる袋をご持参ください。
日時 11月3日（金・祝）～12日（日）まで
午前10時～午後6時30分（開館時間中）
おはなし会 11月11日、25日（土）①午前11時～②午後2時～
11月1日、8日、15日、22日、29日の各水曜日
午前10時30分

本のはろば読み聞かせの会 午前10時30分～
11月1日、8日、15日、22日、29日の各水曜日
※行事の会場・申込みはすべて図書館です
今月の休館日 毎週月曜日、30日（木）は図書整理日

水産博物館収蔵品紹介
「続縄文時代の釣道具？」

魚形石器は続縄文時代に作られ、魚釣りに使用されていたと考えられている石器です。水産博物館で展示されている資料は、余市町内の大川遺跡で出土したものです。縄文時代が終わり、本州では稲作を基盤とした弥生時代へ移行するのに対し、北海道では縄文時代の狩猟・採集・漁労を中心とした生活様式を継承する続縄文時代に入りました。魚形石器は続縄文時代前半に道南～石狩低地帯で広まった恵山文化期に作られたもので、魚の形に似ているところから名づけられました。基本的な形は魚形もしくは鯉節形をしています。素材は泥岩や粘板岩等が使用されており、頭部や尾部に一重か二重の線がぐるりと刻まれているものが多くみられます。



▲博物館展示中の「魚形石器」

用途にはいくつか説がありますが、魚釣り用の疑似餌やおもりとしてオヒョウやヒラメなど大型の魚を捕獲したという説が有力と考えられています。現在まで魚形石器が発見されている遺跡の多くが海岸に近いこともあり、漁労文化に關係した石器であることは確かであると思われまます。続縄文時代の人々がどんな生活をしてきたのか、資料を通して垣間見える当時の人々の様子に興味がつきません。博物館もあと一か月ほどで今年の開館期間を終え、冬期休業となります。開館期間中は魚形石器など続縄文時代の資料も展示していますので、皆様のご来館をお待ちしています。